



ゆうすい

ふれあいネットワーク

ボランティアセンターだより

●編集・発行／社会福祉法人 湧水町社会福祉協議会 ボランティアセンター
本所：TEL 75-2200 FAX 75-2756 事業所：TEL 54-1699 FAX 74-4980

令和7年11月18日発行



令和7年度 ボランティアのつどい



社会福祉協議会では、ボランティアセンターに登録し、町内で活動されているボランティアグループ同士の交流やそれぞれの活動を町民の方々に理解していただくことを目的にボランティアの集いを開催しています。



●ボランティアの方々が一堂に

8月27日（水）、シルバーケアセンターにて「ボランティアのつどい」を開催しました。

当日は、天気にも恵まれ、本会に登録のある団体から23団体、その他手話教室受講生や保護者、総勢54名が参加されました。

●手話歌披露

はじめに、本会が夏休み期間中に開催している、手話教室（全4回）の受講生11名による手話歌（それもいいね・ふるさと）の披露がありました。

講師の福原あけみさんにご指導頂きながら、参加者全員で手話歌をしました。初めて手話を学んだ子ども達も、一生懸命練習した成果を披露してくれました。



●ボランティア同士で交流

次に、様々なボランティア団体から参加されている方々同士でグループに分かれ、情報交換会を行いました。

自己紹介から始まり、嬉しかったことや他のグループに聞いてみたいこと等、今後のボランティア活動に活かせる意見交換も出来、充実した時間となりました。

●レクリエーションは大盛況

最後は、県レクリエーション協会の中村美智子先生を招き、サロン活動で活かせる体操や、ティッシュやマジックを使ったテーブルレクリエーションを指導して頂き、参加者の方々も終始大盛況の時間を過ごされ、大変喜んでいらっしゃいました。

●お土産も手作り

食生活改善推進協議会より参加者全員へ手作りのにがうりの佃煮やお菓子がお土産に振舞われ、大好評でした。



日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償!!

令和7年度

ボランティア活動保険

商品パンフレットは
コチラから
(ふくしの保険ホームページ)



保険金額・年間保険料（1名あたり）

団体割引20%適用済／過去の損害率による割増適用

保険金の種類	プラン	基本プラン	天災・地震補償プラン
ケガの補償	死亡保険金	1,040万円	
	後遺障害保険金	1,040万円(限度額)	
	入院保険金日額	6,500円	
	手術保険金	65,000円	
	外来の手術	32,500円	
	通院保険金日額	4,000円	
	地震・噴火・津波による死傷	×	○
	賠償責任保険金 (対人・対物共通)	5億円(限度額)	
の賠償責任	年間保険料	350円	500円

＜重要＞

- ◆基本プランでは地震・噴火・津波に起因する死傷は補償されません。
- ◆年度途中でご加入される場合も左記の保険料となります。
- ◆中途脱退による保険料の返金はありません。
- ◆中途でボランティアの入替や、ご加入プランの変更はできません。
- ◆ご加入は、お1人につきいずれかのプラン1口のみとなります。



ボランティア行事用保険

送迎サービス補償

福祉サービス総合補償

(傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険)

(傷害保険)

(傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

●このご案内は概要を説明したものです。詳細は、「ボランティア活動保険パンフレット」にてご確認ください。●

団体契約者 **社会福祉法人 全国社会福祉協議会**

〈引受け会社〉損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課

TEL:03(3349)5137

受付時間：平日の9:00～17:00(土日・祝日、年末年始を除きます。)

この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一緒にして締結する団体契約です。

取扱代理店 **株式会社 福祉保険サービス**

〒100-0013 東京都千代田区麹が関3丁目3番2号 新麹が関ビル17F

TEL:03(3581)4667

受付時間：平日の9:30～17:30(土日・祝日、年末年始を除きます。)

手話教室



初步的な手話を学びながら、聴覚障がい者に対する理解を深めることを目的として、小学生・中学生・高校生を対象に、よしまつふれあいの家で全4回の手話教室を開催しました。

吉松地区の福原あけみさんに指導して頂き、指文字や単語・簡単な会話・歌などの手話を楽しく学び、ボランティアの集いにてその成果を発表しました。



●手話教室に参加して

○初めての手話教室で、私は本当に覚えられるか心配だったけど、歌や自分の名前を覚えられてうれしかったです。来年は初めて来た人に教えてあげたいです。

(轟小4年 興邊 夢花)

○きょ年も手話教室に来たけど、きょ年より上手に歌やあいさつができました。とくに、「それもいいね」が楽しく上手になりました。「ふるさと」は、少しわすれていたけど、きょ年よりは、上手にできたと思います。来年はもっともっと上手にできるようにしたいです。またボランティアなどにたくさん参加したいです。(吉松小5年 中原 唯千花)



○私は、手話教室に参加して、色々な手話を学びました。あいさつや手話での歌を勉強しました。表現の工夫や難しさがあり、おもしろくて、楽しかったです。

また、工夫を知り、とても勉強になりました。単語はたくさんあり、似た表現もあって、覚えるのが大変でした。すぐに忘れてしまったものもありますが、また参加したいです。

(栗野中1年 西 愛子)

○2回目の参加だったが1回目にやった手話もわすれてしまっていましたがやっていくうちに思い出して去年出来なかった手話も上手に出来るようになりました。来年も参加し今年あまり出来なかった手話を出来るようになりたいです。今出来ている手話ももっと上手に出来るようになりたいです。

(栗野小6年 山崎 暖子)



タオル寄贈



湧水町老人クラブ連合会吉松地区女性部から、タオルを寄贈して頂きました。

社会福祉協議会の事業で、有効に活用させて頂きます。ありがとうございました。



保育ボランティア体験研修

町内の保育園にご協力頂き、普段接することの少ない乳幼児との関わりを通して、楽しく触れ合うと共に、乳幼児との接し方を学ぶことを目的に、保育ボランティア体験研修を実施しました。元気いっぱいの子どもたちと楽しい時間を過ごし、先生方の大変さも体験できたようです。

円乗寺こども園

○今回の保育ボランティア体験研修では、多くの学びと経験を得ることができ、とても有意義な時間をすごすことができました。

まず1つ目は先生の仕事の大変さを知りました。好奇心旺盛な小学生全員に目を配っている先生方の大変さは計り知れないものだと感じました。

2つ目は小学生の体力の凄さを知りました。実際に一緒に遊んでみると、とても小学生の体力についていくことができませんでした。体力の多さには驚きました。 (鹿児島第一高2年 田島 悠右)



ニッ葉認定こども園

○私はこの「保育ボランティア体験研修」を通して、うれしかった事、大変だった事が沢山ありました。

朝、教室に入ったとき、「おねーちゃん！おねーちゃん！」と沢山の子供達に囲まれた事がうれしかったです。大変だったのは、すぐにけんかを始めてしまう子達を止めに入ったときです。どっちもいやな気持ちにならない様にするのが大変で頭を使いました。お昼寝前の紙しばいのとき、あんなにさわいでいたのに、私達が前に来て紙しばいを読むと、とても静かに聞いてくれてうれしかったです。寝るときは、この子はこうすれば寝てくれそうというの段々分かってきて、難しかったけど楽しかったです。元気な子や大人しい子、その色々な個性を持った子達を、先生方は毎日相手をしているのですごいなと思いました。

(栗野中2年 上村 美千花)



心光保育園

○今日の保育ボランティア体験研修を通して子どもたちのお世話をする大変さをあらためて実感することができました。ごはんを食べるまでに時間がかかったりみそ汁をこぼしたりしたときや、けんかをしたとき泣いてしまったときに先生たちが優しくていねいに教えていて先生はやっぱりすごいなと思いました。今回はプール遊びもしました。プールでは、子どもがおぼれないようにずっとみていたり熱中症にならないようにこまめに水分補給をさせたりとつねに子どもたちを見張っていました。子どもたちがたくさん話しかけてくれたり遊ぼうってたくさんいってくれてとてもうれしかったです。今日のボランティアで子どもの世話の大変さややりがいをかんじることができました。保育士になったらどうやったら子どもたちがよろこんでくれるのか考えて行動しないといけないんだなと思いました。

(栗野中3年 中村 恵奈)

ボランティア体験活動



8月7日（木）、シルバーケアセンターにて『ボランティア体験活動』を実施し、12名の児童生徒が参加しました。赤い羽根共同募金の配分金が使われている事業の一つとなっています。

体験活動では、非常炊出し体験、防災講座、グラウンドゴルフ体験、高齢者疑似体験、車椅子体験、アイマスク体験を行いました。

グラウンドゴルフ体験では、町老人クラブ連合会山口和博さんら9名を講師に招き、指導していただきました。

●ボランティア体験活動に参加して

○非常炊き出しをしたごはんがとってもおいしくてすぐ食べ終わった。防災講座で赤十字の意味とか知れてよかったです。家に帰ったら、たおれてきそうな物をかくにんしたりしたい。グラウンドゴルフで地域の人と楽しくできてよかったです。疑似体験で高齢者がとってもつらいことがよく分かった。車いす体験でお友達とやって、高齢者に声かけをすることが大切だと分かった。アイマスクで目が見えないようにして、ちょっとこわかった。



（吉松小4年 竹ノ上あいり）



○ぼくは、非常炊き出し体験を初めてやりました。ぼくはさいしょにごはんをふくろにいれてたきました。ぼくがむずかしいなとおもったのは、くうきをぬくことです。うまくできなくてやりなおしたけどうまくできました。その後グラウンドゴルフをしました。さいしょはいろいろおしゃてもらひそのあとにやりました。ぼくは、ぜんぜん一位になれませんでした。けどさいごに一位をとれました。（轟小4年 今和泉翔也）

○今日はまず非常炊き出し体験をして、作り方を覚えられた。次に防災講座では赤十字社が行っている人道支援事業を知った。国内災害救護や救急法等講習、青少年赤十字、奉仕団（ボランティア）の養成などだ。そして、次に楽しみにしていたカレーを食べた。とてもおいしかった。そして、グラウンドゴルフをした。最初はむずかしかったけど、しているうちになれてきて、できるようになった。とても楽しかった。最後に疑似体験をした。1つ目では、おじいちゃんおばあちゃんなどの大変な気持ちが分かった。車いす体験では、押す人も乗る人もどちらもたいへんのが分かった。アイマスク体験では、何も見えず段差なのがちょっとこわかった。一番楽しかったのは、グランドゴルフでした。



（栗野中1年 柿木美月）

○僕は、今回のボランティア体験活動を通して特に印象に残ったのは、初めてやったグランドゴルフです。旗がある鉄の棒の下の穴にボールを入れるという単純なスポーツでしたが、思ったより難しかったです。でも2回目あたりから力加減が打つ角度などを覚えられてスムーズに打つことができて、嬉しかったしとても楽しかったです。他にも福祉に関する体験もすることができました。この活動のボランティアの意味がよく分かりました。これからも、高齢者などが困っているときは、積極的に助けていきたいです。



（栗野中3年 原口康喜）

福祉体験学習

社会福祉協議会では、町内の小中学校へ出向き、児童・生徒の福祉教育の一環として福祉体験学習を行っています。

9月3日に栗野中学校1年生が福祉体験学習を行い、普段あまり接することが少ない高齢者や障がいの方々の気持ちを考え、不便さを体験したり、声かけの仕方を学びました。



○私は伝え方が頭にのこりました。小学校ではあまり記おくにのこらなかった耳元で話すことや少し大きめで話すなどが勉強になりました。一番びっくりしたのは、車いすとおばあちゃん体験でした。車いす体験は思っていたより簡単に持ち上がったことです。おばあちゃん体験は、目が黄色くぼやけて見えたことです。大人を持ち上げるのはむりだらうと思っていたので本当にびっくりしました。小学生の頃とほぼ同じことをしたはずなのにすこしうがうような体験

をした気分でした。また体験してみたいなとちょっと思いました。

(1年 有木茉央)

○私は、介護体験学習で2つ知らなかったことが知れました。1つ目は、車イス体験で車イスに最初乗ったときに、前に進んでいるとき全然怖くなかったんですけど、下りの時に後ろから降りて行ったときに声かけがなかつたらとても怖かったです。車イスに乗っている人は、いつ動くのかわからないから声かけは一番大事だと知ることができました。2つ目は、高齢者体験で、私がおばあさん役をしました。視りよくは見えにくかったです。私は祖父母がいるので一緒にお出かけをするときは車からおりるときは「ゆっくりでいいからね」と言おうと思いました。



(1年 川畠乃愛)



○ぼくは、車イスに乗ってみて、段差がこわく、高齢者ぎじ体験では足が動きにくく、転びそうになり、人の顔もはっきりは見えなくて歩くのがきつかったです。他にも目が見えない人の体験では、知っている場所なのに少し歩いたら今どこにいるかもわからなくなり、段差もとてもこわかったです。ぼくは今回相手の気持ちを実際に体験して気づくことができたのでこれからもこのようなことがあったら相手の気持ちになってしんちゅうにやっていきたいです。

(1年 田島一樹)

○私が体験をして怖かったことは、アイマスクをして歩く、目が見えない人のことが分かるものでした。体験をしてみて、目が見えない人は白杖を使って歩いているんだと思うと怖いし、不安な気持ちがよく分かりました。高齢者疑似体験では、腰は真っすぐにできないし、視界がせまいし、ちょっとぼやけてるし、思うようにひざやひじなどの関節が曲げられなかったです。高齢者はなぜ早く歩けないんだろうと思っていたけどその理由を良く知りました。車いす体験では、車いすをおすスピードが速いと車いすに乗っている側はめっちゃ怖いし、不安だったので、前に進む時も後ろに進む時にも声をかけることがとても大切だということを学べました。



(1年 森山桜羅子)

ふれあい 子育てサロン

毎月開催しています



子そだて中のあ母さん、あ父さん
地域のみなさんと一緒に楽しい時間を
過ごしませんか？



お母さん同士でたこやき作り！おしゃべりしながら、おいしいたこやきができました(^^)/

食べ終わった後は、みんなで情報交換や、おもちゃ遊び！
楽しい時間が過ごせました。



今後の予定

- ☆11/14 (金) 支援センターすくすく
にて製作遊び
- ☆12/12 (金) フラワーアレンジメント
- ☆1/9 (金) 自由遊び
- ☆2/13 (金) 読み聞かせ（朗読倶楽部まんまる）
- ☆3/6 (金) 幼児救急法講習会

時間 10時から正午まで

場所 よしまつふれあいの家

☆天候、その他感染症対策の為、日時・内容を変更する場合があります。内容に応じて予約や、参加費が必要となる場合がある為お問い合わせください。



お問い合わせ先

よしまつふれあいの家

☎0995-75-2811

湧水町社会福祉協議会

☎0995-75-2200

